

教科 【 英語 】

■生徒の状況

- ・会話活動や発音練習などに積極的に参加する生徒が多い。
- ・長文を読んだり英文を書く活動では、自力では難しくても、仲間と助け合ったり一人一台端末を活用して仕上げようと努力する生徒が多い。
- ・単語や文法事項の定着は個人によって差がある。

■指導における課題

- ・協働的な学びや端末活用への積極性を生かしつつ、語彙・文法の定着度に応じた支援の充実が課題である。取り組む内容が明確な授業、取り掛かりのきっかけのある授業、気づきのある授業を行い、生徒が意欲的に取り組める授業を行う。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1 板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	・めあての提示→自力解決→集団解決→まとめ・振り返りの学習の流れを定着させる。 ・本時の流れを提示し、生徒が見通しをもって授業に取り組めるようにする。 ・単元・題材のねらい、生徒たちの実態に応じて、教師が教えるべきことは確実に教えるとともに、生徒が自己選択、自己決定、自己調整しながら学ぶ機会を設定する。
視点2 ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	・一人一台端末を活用し、個の理解度や興味関心に応じた学習方法を選択できるようにする。 例1：デジタルテキストを使い、英文や単語を自分のペースで分かるようになるまで何度も聞いたり、発音したりしながら、リスニング力・スピーキング力を高める。 例2：World classroomを使い、ESAT-Jの対策、スピーチやプレゼンテーションの対策、語彙力向上を図る。 例3：スピーチや音読などを録音し、自分で視聴し、振り返りを行う。
視点3 総合的な学習の時間との連携	・英語を通して、国内外の地域の文化や歴史について学び、国際理解につなげる。 ・英語で、国内外の偉人に関する物語を読み、内容を理解したり、自分の生活に生かせることについて考える。